

11月2日のウクライナ情報

安齋育郎

●「気づかないうちに取り込まれる」(2022年10月31日)

ウクライナの情報機関に協力した照準手の女性、軍がどのように民間人を利用するかを語る。

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1586739804603297792?t=bhu8v6An0sJFY7giod-KuQ&s=09>



●ウクライナがザポリージャを要塞化(2022年10月31日)

ザポリージャ州主管庁ロゴフ氏「ウ軍はザポリージャを一つの大きな要塞に変えている」。

「ウクライナ軍は、ザポリージャ市の民間インフラを大量に占拠し、その中で装備を整えることで、市街戦に備えている。彼らは幼稚園、学校、大学、病院、そして市内の企業を一斉に占拠している」とロゴフ氏は語った。



●ノルドストリーム破壊は米英？(2022年10月31日)

【英国が米国と組んでノルドストリームパイプラインを爆破したのを、なぜロシアが知っているのか？】

【なぜならトラス前イギリス首相が iPhone でアメリカのブリンケン国務長官にメッセージを送ったからだ。爆破された1分後に他の誰も知らない内に「終わったよ」というメッセージを送ったから？

ハッキングされたのは電話ではなく文脈だ】↓

How do the Russians know that the UK blew up the North Stream pipelines in partnership with the US?

Because @trussliz used her iPhone to send a message to @SecBlinken saying "It's done" a minute after the pipeline blew up and before anybody else knew?

●ロシア国防省:ウクライナ軍累積損失(2022年10月31日)



✳️ 陸軍航空隊+ミサイル隊
 ウクライナ軍の通信センター破壊(Beliaevka, ヘルソン)
 砲弾庫破壊(クビャンスク)
 砲撃ユニット x 68、軍キャンプ x 189破壊
 特殊作戦部隊用トレーニングセンター破壊(ニコラエフ オチャコフ)

✳️ カウンター攻撃
 アメリカ製M777榴弾砲部隊破壊(ヘルソン)
 アメリカ製HiMARSの発射台破壊 x 2(ザポロージャ)
 ドイツ製MARS-2多連ロケットシステム+ロケット砲弾破壊(ニコラエフ)
 アメリカ製AN/TPQ-36カウンター砲用レーダー破壊(ドネツク)

✳️ ロシア軍戦闘機
 Mi-8ヘリ撃墜 x 1(Duchany, ヘルソン)

✳️ 防空隊
 Su-25撃墜 x 1(Donetsk, Nikolskoye)
 Mi-8ヘリ撃墜 x 2(Kirovsk, Konstantinovka, ドネツク)
 UAV撃墜 x 10(ドネツク, ルガンスク, ハリコフ)
 アメリカ製HiMARS阻止 x 3 2 (ドネツク, ヘルソン, ルガンスク)
 アメリカ製対レーダーミサイルHARM阻止 x 6(ヘルソン)

🗣️ HiMARSぶっ壊した(祝)
 アメリカ対ロシアの戦争ですな。破壊されてる武器がアメリカ製ばかり。ウクライナは戦える国じゃない。

#ロシア軍戦果ウクライナ損失

💀 ウクライナ軍作戦大失敗 クビャンスク
 外国人部隊の援軍を伴った2大隊がロシア軍のポジションへ攻撃を試みたが、ロシア軍の砲撃と空爆により元の位置に戻った。ウクライナ兵と傭兵250人死傷、戦車1台、歩兵戦闘車6台、装甲人員運搬車4台、車両8台破壊

💀 ウクライナ軍の攻撃失敗 リマン
 戦術グループ2部隊がルガンスクへの攻撃をしたがロシア軍が砲撃と空爆で撃退。兵50人死傷、戦車1台、歩兵戦闘車2台、装甲人員運搬車1台破壊

🔥 ロシア軍の攻撃 南部ドネツク
 ドネツクの高台や軍キャンプを次々と制圧し、ロシア軍は3キロ戦線を押し上げた。ウクライナ兵100人死傷、戦車1台、装甲戦闘車3台、ピックアップ6台破壊、ウクライナ兵6人が投降、戦車1台ゲット♪

💀 ウクライナの3作戦失敗 ニコラエフ-クリヴオイ・ログ
 食い込みを試みたウクライナ軍をロシア軍が撃退、元のポジションに戻った。13か所の予備兵キャンプも破壊。ウクライナ兵180人死傷、装甲車11台、車両21台破壊

M777 榴弾砲と Buk M-1 対空ミサイルを破壊する Lancet の映像

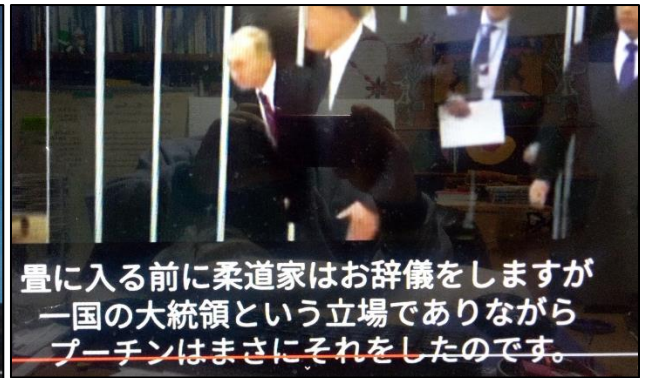
<https://twitter.com/i/status/1586796629725974528>



●ロシアのテレビで放送された安倍元総理のインタビュー(2022年、放映時期不明)

投稿者コメント:ロシア語吹き替えなしのビデオが見つからなかったので、日本語→ロシア語→英語→日本語という過程を経た結果の字幕です🙄 安倍さんの実際の言葉とは多少異なります。

いつ放送されたのかは不明。



●マクロン大統領、国民に「もっと働け」と(2022年10月27日)

マクロンは国民に、人生に不平を言わず、豊かに暮らしたいなら、年金を受け取りたいならもっと働くようにと声明を発表した。



●エジプト、金を含む新しい通貨指標で米ドル固定から脱却へ(Kitco News、2022年10月27日)

<https://www.kitco.com/news/2022-10-24/Egypt-to-move-away-from-U-S-dollar-fixation-with-its-new-currency-indicator-that-includes-gold.html>

エジプトの新中央銀行総裁によると、エジプトポンドを米ドルにペッグするべきだという考えから自由になりたいと考えている。そして、中央銀行はすでに、他の通貨と金をセットにした新しい通貨指標に取り組んでいる。 ※ペッグ= 自国通貨を他国通貨に連動させ、為替レートを一定にすること。

「ドルにリンクしているという文化を変えるために、金に加えて他の通貨群を通じてエジプト・ポンドの指標を作る予定だ」と、中央銀行総裁代理のハッサン・アブダラ氏は10月23日にカイロで開かれた経済会議で述べた。

その上で、中央銀行は為替ヘッジを採用することも望んでいる。そして、すでに通貨取引システムの再設計を進めており、先物取引も終了している。

すべては、エジプトが自国通貨を米ドルにペッグしているというイメージから脱却したいという考えに帰結する。

「ペッグ」という考え方のためです -- 価格の話ではなく、考え方の話をしているのです。アメリカは私の主要な貿易相手国ではない。なぜ、みんなドルに固執するのかわからない」とアブダラは言った。

「私たちの成功の鍵は、私たちがペッグしているという文化や考えを変えることにあります。私たちは、あらゆる通貨に対して見られるようになりたいのです」。

エジプトの最大の貿易相手国は、中国とサウジアラビアである。経済イベントの中で、地元関係者はエジプトの通貨交換システムをめぐる過去の政策ミスについて議論した。

これは、通貨価値をドルの周辺で安定させるという、経済にとってコストがかかり、金利を上昇させ続けなければならないプロセスを何年も続けてきた結果である。

アブダラ氏は、前任の中央銀行総裁が辞任した後、8月に中央銀行総裁代行に任命された。

エジプト・ポンドは今年、インフレ懸念から通貨下落のリスクを高め、大きな圧力にさらされている。エジプトの年間消費者物価は9月に15%まで加速し、この4年間で最も速いペースとなった。

ロシアのウクライナ侵攻ですべての商品コストが上昇し、すでに発生していたショックに続き、頑強な高インフレは経済とポンドにとって大きな問題である。

エジプトは現在、国際通貨基金(IMF)からの新規融資の交渉の最終段階にあり、IMFはより柔軟な為替レートを希望している。

しかし、エジプト政府関係者にとっての問題は、エジプト・ポンドの健全性は、経済の健全性を測る大きな指標でもある米ドルに対する価値と結びついているという、根強い考えを克服することだ。

「エジプト人の感覚では、通貨価格は経済の強さと連動しているという印象がある」と、エジプトのモスタファ・マドブリー首相は同じ会議で述べた。

マドブリー氏はまた、通貨安は経済の健全性により有益である可能性を示唆し、輸出を促進し投資を増やすためにこうしたことを「計画する国もある」と付け加えた。



●ダーティボムをめぐる IAEA 事務局長の動き(2022年10月27日)

IAEA グロッシ事務局長は10月26日、「ダーティボム」による挑発が準備されているという情報の中で、ウクライナ訪問をめぐりモスクワと常に連絡を取り合っていると述べた。

「ラブロフ外相やロスアトム(ロシアの国営原子力企業)代表とも定期的に話し合っている。ウクライナ側とも接触している」と記者団に語った。



※安齋注:国連やその期間の一つである IAEA がとかくアメリカの影響下にある中で、ラファエル・グロッシ事務局長がどこまでロシアの主張にどこまで真面目に耳を傾けるか、注目される。グロッシ氏はアルゼンチンのウィーン国際機関代表部大使で、58歳。核不拡散問題の専門家。

●ウクライナの兵力損失は前週比約 2 倍の 2,500 人に増加(タス通信、2022年10月31日)

ロシア国防省スポークスマのイゴール・コナシェンコフによる毎日のブリーフィングに基づく TASS の計算によると、ロシア軍は先週のウクライナでの特別軍事作戦中に 2,500 人以上のウクライナ軍人と外国人傭兵を一掃した。これは、1 週間前の 1.5 倍以上です。

10 月 17 日から 23 日にかけて、敵はクピャンスク方面で最大の損失を被った先週とは対照的に、ニコラエフ - クリヴォログ戦線で人員と装備の面で最大の損失を被りました。南ドネツク方向への攻撃中に、ロシア軍は敵の防御に 3 km 以上前進しました。

TASS は、10 月 24 日から 30 日までの特別作戦に関する最も重要な統計を収集しました。

〈ロシア軍の攻撃行動〉

ロシア国防省は、ドネツク人民共和国の南ドネツク方向への軍隊の攻撃を発表し、その間に多くの要塞と紋章が押収されました。ロシアの攻撃グループは、敵の防御の奥深くまで 3 km 以上前進し、パブロフカの入植地に到達しました。敵は 100 人以上の軍人を失い、6 人の兵士が降伏した。

攻撃中に、ウクライナの戦車が 1 両破壊され、もう 1 両が鹵獲されました。3 台の装甲戦闘車両と 6 台の輸送車両も破壊されました。

〈ウクライナの人的資源の損失〉

人的資源の最も重要な損失は、クピャンスク方面のウクライナ軍によるもので、ウクライナは 830 名を失った。Nikolayev-Krivoy Rog の方向では、ウクライナの部隊は 10 月 25、26、27 日にロシアの陣地を攻撃しようとして失敗しました。ウクライナ軍は、この方向で 800 人以上の軍人と外国人傭兵を失い、クラスヌイ リマン戦線で 650 人、サウス ドネツク地域で 190 人を失った。

さらに、ハリコフ地方のスタロベロフカ村近くの人員と装備の集結地点に対するロシアのミサイル攻撃の結果、40 人を超えるウクライナ軍人が全滅した。

〈機器のウクライナの損失〉

ウクライナ軍は先週、クラスニー・リマン戦線で最大数の戦車を失った:合計 18 両。TASS の計算によると、ニコラエフ・クリボイ・ログ戦線のロシア軍部隊は、ウクライナの装甲戦闘車両の中で最も多くの 63 両を破壊しました。

ロシア国防省が公開したビデオによると、ロシアのランセット無人機がウクライナの Buk-M1 MLRS の自走砲システムを破壊した。敵は米国製の AN/TPQ-37 対砲兵レーダーも失った。

TASS の計算によると、ウクライナ軍は合計で約 180 台の戦車やその他の装甲車両、およびさまざまな種類の 170 台以上の車両を 1 週間で失いました。

〈航空機、防空、砲兵性能〉

TASS によると、ロシアの防空装備の生産性が最も高かったのは 10 月 30 日で、ウクライナの Mi-8 ヘリコプター 3 機と Su-25 攻撃機 1 機を撃墜した。

対空砲手は、2 機の MiG-29 戦闘機、2 機の Mi-8 ヘリコプター、76 機のドローン、78 基の複数発射ロケット システム (HIMARS、Smerch、Uragan、Alder)、および 24 基の米国の空対地対放射線ミサイルも迎撃しました。平日は HARM。破壊された無人偵察機には、10 月 29 日に

セヴァストポリの道路で行われた黒海艦隊の船と民間船に対するウクライナのテロ攻撃の際に撃墜された 9 機が含まれています。

ロシアの航空、ミサイル、砲兵部隊は、アメリカ製の M777 榴弾砲数基、アメリカ製の HIMARS 多連装ロケット システム 2 基、ドイツの MARS-2 多連装ロケット システムと PzH 2000 自走砲ユニットを破壊しました。

また、ウクライナのサボタージュと偵察グループがザポリージャ地域のエネルゴダール近くに上陸しようとした際に、ウクライナのスピードボート 1 隻が全滅しました。

さらに、前述のセヴァストポリ海域の船舶への攻撃に参加した 7 台の自律型海上ドローンも攻撃を受けました。これは特殊作戦全体で初めてのことであり、そのような事件はこれまで公式に報告されていませんでした。

〈ウクライナの重要な目標の破壊〉

10 月 26 日、ハリコフ州のプリコロトノエ村付近でのロシアの攻撃により、ウクライナ軍の通信センターが破壊され、ドンバスの軍隊にディーゼル燃料を供給するために使用されていたドネプロペトロフスク近くの石油貯蔵施設が破壊されました。

10 月 27 日、ドネプロペトロフスク地方のパブログラード近くの工場が破壊されました。ウクライナ軍用のロケット燃料、爆薬、火薬を製造した。10 月 30 日、ロシア軍はニコラエフ地域のオチャコフ近くにあるウクライナ特殊作戦部隊の訓練センターを攻撃しました。

ロシア国防省は 10 月 31 日、高精度の長距離空爆と海上攻撃を実施したと発表しました。その結果、ウクライナの軍事統制とエネルギーシステムの施設が攻撃されました。

全体として、TASS の計算によると、ロシア軍は 1 週間で 33 のウクライナの指揮所と 14 の弾薬庫を破壊しました。

●ウクライナの EU 早期加盟は誰の利益にもならない=仏首相(Sputnik、2022年10月27日)

https://twitter.com/sputnik_jp/status/1585487716103630848?t=zAssHjVLOFSIJDCXnSHag&s=09

フランスのエリザベット・ボルヌ首相は、ウクライナの EU(欧州連合)加盟について、早期加盟は誰の利益にもならないとの考えを表明した。

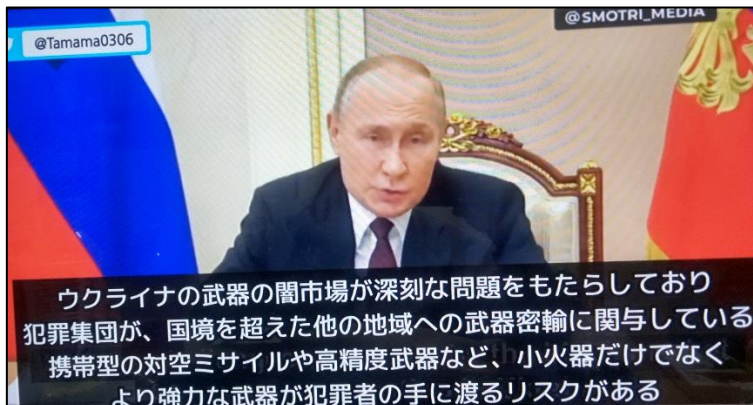
首相は、フランス議会で演説した中で、「EU は 6 月に全会一致で、ウクライナを加盟候補国とすることを認めた。しかし加盟への道は長く、困難なものになるだろう。早期加盟の手続きは、基準を緩和することにはならない。それは EU にも、ウクライナにも利益にはならない」と述べた。EU 総務理事会は 6 月に、EU 加盟国がウクライナに EU 加盟候補国のステータスを付与することについて完全に合意に達したと発表していた。



●プーチン大統領のウクライナ近況についてのコメント(2022年10月)

プーチン大統領:ウクライナのダーティーボム、偽旗作戦/CIS 諸国のテロ対策/ウクライナの闇市場のせいで強力な武器が国境を超えて犯罪組織の手に渡っている/米国主導のカラー革命によりウクライナは主権を失い傀儡と化し、ロシアなど CIS 諸国への対抗手段として利用されている

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1585335900481159168?t=5ctHCQr7F0SOqwTWN7yUkQ&s=09>



●アメリカの軍産複合体の力に民主党進歩派議員屈服(2022年10月27日)

米国下院の進歩的な民主党員は、ロシアとウクライナの戦争を終わらせるために外交を求める声を正式に撤回した。またしても、軍事産業複合体がその力を発揮した。

アメリカでは「治安維持国家」がショーを行っている。政治家はその操り人形である。



●ドイツはひどい国に成り下がったか(2022年10月27日)

ドイツの裁判所は、ロシアのプロパガンダ・シンボル「Z」を自分の車に表示した 62 歳の男性に対し、4,000 ユーロ(約 58 万円)の罰金を科した。



※安齋注:表現の自由が圧殺されていますね。ドイツの現状はひどいです!

●ポーランドの国会議員のウクライナ戦争についての発言(2022年)

ポーランド国会議員のパウエル・コワルは、欧米諸国は自国の気温が下がればウクライナへの支援を拒否するかもしれないと述べた。また、ウクライナでの敵対行為が続いているのは、ひとえに欧米の支援によるものだと強調した。



●ドイツ大統領のウクライナ訪問時の空襲警報(2022年10月26日)

ドイツ大統領シュタインマイヤーがウクライナ訪問時の空襲警報は偶然の一致が多すぎるとTwitterでドイツ人が書いている。

「この空襲警報は本物か、それともテスト用か」

「もし私がウクライナ人なら、スポンサーのためにミサイル警報を鳴らすだろう」

「ウクライナがより多くの資金を得るのに確実に役立つだろう」



●ウクライナ軍がカホフカ水力発電所を攻撃(2022年10月25日)

ウクライナ軍は HIMARS と Olkha MRLS から 19 発のミサイルを Novaya Kakhovka に発射し、そのうちの 3 発が Kakhovka 水力発電所を直撃した。これはケルソン州の救急隊が報告したものである。

ウラジミール・レオンティエフ市長は、「攻撃にもかかわらず、ステーションは機能しており、ダムが決壊はない」と述べた。彼はまた、キエフの挑発の可能性のリスクを最小化するために、専門家は、水を捨て続けていると付け加えた。

